PM演習中間発表

スライド1

これから矢吹研Cチームの発表を始めます

スライド2

プロジェクトの背景は今回のユーザは商工会議所の役員で，津田沼近辺のラーメン屋の発展させたいので，それを実現するアプリを作成することです。

スライド3

プロジェクトの目的としては，津田沼近辺のラーメン屋を検索できる。またグーグルマップの利用で目的地に到達できる。もう1ポイント工夫した機能を入れる。以上の3点を兼ね備えたアプリの作成が本プロジェクトの目的です。では，われわれが計画しているアプリのイメージを説明します。

スライド4

これは基本設計書の5ページに書いてある画像です。津田沼駅を中心にマップを表示させ、ラーメン屋の場所に店名・ピンを立てます。また拡大・縮小できるようにします。

スライド5

これは基本設計書の6ページに書いてある画像です。こちらはプロジェクトの目的にありました1ポイントの工夫として、食べログへのリンク、さらにコメント機能を実装します。

スライド6

これは本プロジェクトの体制図です。こちらはプロジェクトマネジメント計画書のP14ページに記載しているものです。企画班のPMの井上がユーザと、シニア、開発班PMの若月くんの以上の3名にしっかり連絡を取るのがわかります。今後は今まで以上にほうれんそうをしなければプロジェクトの遅延につながるので留意する必要があります。

スライド7

プロジェクトの目標です。品質、コスト、納期、リスクの4点に着目しました。

スライド8

まずは品質目標です。私たちの計画しているシステムの主要要求として、

1：地図を表示させる機能

2：1の地図上にラーメン屋の店名とピンを立てる機能

3：2のピンを選択したラーメン屋に対するコメントや、食べログへ飛べるリンクを表示させる機能

を考えました。

それらの成功基準として、成功基準はテスト報告書の合格

スライド9

次にコスト目標です。私たちの目標は予定しているコスト以内に収めることで、成功基準はプロジェクト憲章に記載している300時間以内に完遂する。です

スライド10

これは現在のEVMです。ACがPVより若干少ないです

ここで問題があります。EVの値が正しく表示することができず、計算もできていません。なので申し訳ないですが、次にガントチャートの図でどこまで完了してるか見せます。

スライド11

このように今のところは、中間発表までの予定成果物はすべて完成してます。体感としては、前半にプロジェクト全体をつかめないで、作業が後回しになり、はじめからプロジェクトの余裕はなかった。後半は全員が中間発表を意識し、作業を自宅で持ち込んだり、研究室に残るなどして、何とか間に合わせました。

全体を通して、すべてぎりぎりでプロジェクトを進めてしまったと感じました。

スライド12

次に納期の目標です。目標として期限内にアプリの作成終了で、成功基準は目標を完遂することです。

スライド13

ガントチャートです。こちらはプロジェクトマネジメント計画書のP12,P13ページに記載されています。今日中間発表までは納期は守られています。しかし、実際の作業時間を見ると前半あまり作業してなかったことにより、後半に積み込む形になってしまいました。

スライド14

リスク対策の目標です。

想定される主なリスクは以下の3つです。それは

・開発者の意図と設計者の意図の相違、

・開発者の技術不足、

・開発者と設計者の過労

です

対策としては、

・3日ごとに現在の完成具合と開発者と設計者が直接会う機会を設け、その場で確認すること。

・PHPの教本以外に参考書を用意すること。

・負荷がかからないよう仕事との量を平等にする。

の以上の3つです

スライド15

最後に反省と今後の方針です

中間発表までのチームでの問題点としては

後回しにしすぎた。全員の進捗報告をしなかった。仕事の割り振りができてなかった。

これらの反省点としては、

これからは期限を守る。現状方向を週一回行う。ガントチャートをうまく使いこなすことの3点を考えています。

今後の方針としては、次から開発班もかかわってくるので、

成果物のイメージを一致させる

リーダー同士で話し合う機会を設ける

以上の2点に注意し、プロジェクトを進めていく予定です。